



守屋多々志作
「生田敦盛」

大垣市議会だより

発行：大垣市議会 編集：市議会だより編集委員会 TEL：0584-47-8073

大垣市民の誓い

私たちは 水を生かし
緑を広げ 安全に努め
心を育て 助け合います

<インターネットURL>
大垣市議会 検索

新市庁舎建設現場「親子見学会」(7月21日)



免震体験車の様子



免震ゴム(模型)の説明



免震装置の見学(地下1階)



上石津町産のヒノキを利用したカウンターの説明

第2回市議会定例会 令和元年度一般会計 補正予算などを可決

第2回市議会定例会を6月3日から14日までの日程で開催しました。

初日には、大垣市農業委員会委員の任命や大垣市教育委員会委員の任命、大垣市監査委員の選任についてなど5議案を先議した後、市長から令和元年度一般会計補正予算などについて提案説明を受けました。

10日には12名の議員が市政運営に関する一般質問を行い(2、3面に掲載)、12日から13日には各委員会において付託議案の審査を慎重に行いました。

14日の最終日には、各委員長が審査結果の報告を行い、市長提出議案19議案を可決、請願1件を採択、1件を不採択、議員提出議案2件を可決し、閉会しました。

大垣市議会役員名簿

5月9日に開会された第1回臨時会において次のとおり決まりました。

議会三役	
議長	日比野 芳 幸
副議長	粥 川 加奈子
監査委員	近 沢 正

定例会日程

6月 3日	本会議 (提案説明)
10日	本会議 (一般質問)
12日	建設産業委員会 教育福祉委員会
13日	総務環境委員会
14日	議会運営委員会 本会議

常任委員会			
総務環境委員会(8名)			
委員長	石田 仁	副委員長	中田 ゆみこ
委員	不破 光司	委員	北野 ひとし
"	田中 孝典	"	日比野 芳幸
"	川上 孝浩	"	岡田 まさあき
教育福祉委員会(7名)			
委員長	長谷川 つよし	副委員長	空 英明
委員	梅崎 げんいち	委員	はんざわ 多美
"	粥川 加奈子	"	岡本 敏美
"	石川 まさと		
建設産業委員会(7名)			
委員長	関谷 和彦	副委員長	丸山 新吾
委員	近沢 正	委員	中田 としや
"	岩井 哲二	"	高橋 滋
"	林 新太郎		
議会運営委員会(7名)			
委員長	田中 孝典	副委員長	丸山 新吾
委員	関谷 和彦	委員	中田 ゆみこ
"	岡本 敏美	"	岡田 まさあき
"	高橋 滋		
特別委員会			
市民病院に関する委員会(6名)			
委員長	川上 孝浩	副委員長	北野 ひとし
委員	梅崎 げんいち	委員	はんざわ 多美
"	近沢 正	"	岡本 敏美

補正予算 【一般会計】

可決された主な議案

- ◇消費税率引上げに伴う子どもの貧困対策として、未婚の児童扶養手当受給者に支給する臨時・特別給付金210万円を計上。
- ◇今年の3月に補正予算として議決した風しん抗体検査事業費について、国の補助事業として実施することになったため、改めて2480万円を計上。
- ◇国の補助採択に伴い、消防団活動における的確な情報伝達手段を確保するため、消防団用のデジタル簡易無線機購入費490万円を計上。

条例等

- ◇大垣市公設地方卸売市場業務条例の一部改正について市場環境の変化に柔軟かつ迅速に対応するため、公設地方卸売市場に指定管理者制度を導入することに伴い、所要の改正を行うもの。
- ◇財産の取得について市役所新庁舎において必要となる備品を購入するもの。

意見書(文面は4面に掲載)

- ◇後期高齢者医療費自己負担の現状維持に努める意見書
- ◇児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書

一般質問

6月10日に
一般質問を
行いました

保育園の働き方改革について
空 英明

質問…保育園ではさまざまな働き方改革に取り組んでいるが、次の業務改善により保育士の負担軽減と保育の質向上を図りたい。
①スマホ決済等キャッシュレス化による延長保育料等現金授受の撤廃。
②日本語が堪能でない外国人園児家族への対応における翻訳アプリの導入。
保育の現場こそICTを活用すべきと考えるが、市の見解を伺う。
答弁…公立園の現金授受は、保育料と同様に口座振替を検討するなどキャッシュレス化を進めていく。
次に、平成31年4月1日現在、公立園には98人の外国人園児が在籍し、一部の園では試験的にタブレット端末の翻訳アプリを活用しており、その結果を踏まえ各園にアプリの導入を進める。ICT等を活用し業務の効率化を進め、保育園の働き方改革を図っていく。

タブレット端末による翻訳アプリの活用



キャッシュレスの推進について
近沢 正

質問…キャッシュレス決済の導入には決済端末の導入等の初期費用や手数料の高さから消極的な店舗が見受けられる。QRコード決済はこのような課題を解決できる決済方法である。本年10月に施行される予定の消費税増税時のポイント還元に対応するための本市の取り組みを伺う。
※現金以外のクレジットカードや電子マネー、QRコード、バーコード等を用いた決済手段。
答弁…国は2025年までにキャッシュレス決済比率を2015年の18.4%から40%に目標を設定した。本年6月からは商工会議所や市内金融機関等と連携し、国のキャッシュレス推進策を広く周知するため、相談窓口の設置やセミナーの開催など、中小・小規模事業者の支援に努め、キャッシュレス社会の実現に向け積極的に取り組んでいく。

高齢者運転免許証自主返納支援事業の拡充について

不破 光司

質問…本市では、平成30年5月15日より高齢者運転免許証自主返納支援事業がスタートした。自主返納を一層促進するため、免許証の自主返納者が生活の足として電動車イスやシニアカーを購入する際に購入代金の一部を助成する等、現行制度を拡充し改善すべきと考えるが、市の見解を伺う。
答弁…本市では、65歳以上の運転免許証自主返納者に公共交通機関の5000円程度の回数券を贈呈する高齢者運転免許証自主返納支援事業を昨年度開始し、511件の申請があった。また、全国各地で発生している高齢運転者の交通事故等や、高齢者交通安全全大や広報おおがきによるPR等により、月30件程度であった申請件数が本年5月には65件と倍増した。なお、高齢者運転免許証自主返納支援事業の拡充や、高齢者の移動手段等については、地域特性や移動ニーズ、利便性、費用対効果等を考慮しながら、引き続き調査研究を行い、運転免許証の返納しやすい環境づくりに関係事業者と連携して取り組んでいく。

聴覚・言語障がい者等の緊急通報について

中田 ゆみこ

質問…聴覚や言語の障がいにより音声での緊急通報が困難な人たちへの現在の本市の対応を伺う。また、「Net119緊急通報システム」は総務省が推奨しているが、市の見解を伺う。
※スマートフォン等でインターネット環境を利用し、音声によらない緊急通報を行うことができるシステム。
答弁…音声による通報が困難な方が緊急通報する方法として、本市では、大垣消防組合が平成14年10月からFAXを利用して119番通報する「安心FAX119」、平成15年8月から携帯電話のメールで119番通報する「携帯電話メール119」を導入し、聴覚・言語障がい者等の方々への対応を充実させてきた。大垣消防組合では、「Net119緊急通報システム」を令和2年度末までに導入することを目指していく。



高齢者の見守りネットワークについて

関谷 和彦

質問…少子化や核家族化により高齢者の見守りが困難になる中で、ひとり暮らし高齢者等見守りほっとライン事業における緊急通報装置の貸与状況と周知方法を伺う。次に、迷惑電話防止機器の無料モニター事業は終了したが、その後の機器の継続利用及び、大垣市消費者見守り会議の取り組みを伺う。
答弁…ひとり暮らし高齢者等見守りほっとライン事業は本年5月末現在841世帯が利用し、広報やホームページで周知を行っている。迷惑電話防止機器の無料モニター事業は、平成29年度に振り込め詐欺等の迷惑電話の防止措置の実証実験を行った。100人の募集に対して48人の応募があり、現在も10人が引き続き利用している。
大垣市消費者見守り会議は、消費者被害の未然防止・早期発見及び拡大防止を目的に、平成29年12月に設置した。市、警察、金融機関、福祉団体等が詐欺などの消費者被害に関わる情報を共有し、金融機関での声掛けや啓発グッズの配布等の対策を行っている。
今後とも消費者保護の推

選挙の投票率について

長谷川 つよし

質問…今年4月の県議会議員選挙は38.76%、市議会議員選挙は42.79%という過去最低の投票率となり、看過できない状況である。若者の政治に対する関心の低さも課題だが、高齢化に伴い移動が困難な高齢者が投票をあきらめる事例も発生している。今回の低投票率の原因分析と今後の投票環境のさらなる拡充について所見を伺う。
答弁…今年4月の県議会議員選挙及び市議会議員選挙が低い投票率となった原因は、とりわけ10代から30代の若者の投票率が低いことが挙げられる。
本市では、投票率の向上に向け、広報紙やホームページによる啓発、広報車による放送啓発、大型商業施設等における街頭啓発等の啓発活動を行っている。また、市内の高校で模擬投票や出前講座を実施するほか、大学内に期日前投票所を試行設置するなど若者向けの施策を拡充した。
さらに、今回の統一地方選挙から銀行のATM画面を活用した啓発も行った。しかし、高齢有権者の投

進のため、広報や出前講座などを通し周知に努める。

票率も低下傾向にあり、移動支援や移動投票所の設置、投票区の見直し、期日前投票所の増設を含め、投票率の向上に向けた手法の研究や、国の郵便投票など不在者投票制度の見直しも注視していく。

模擬投票 (大垣南高校)



乳児用液体ミルクの備蓄について

梅崎 げんいち

質問…昨年8月に国内での製造・販売が解禁された乳児用液体ミルクは、粉ミルクと異なり、お湯などを用意する必要がなく、常温保存が可能である。子育て世帯の負担軽減や災害時での活用が期待されており、既に備蓄の方針を決定している自治体がある。本市の現状と今後の普及・啓発について見解を伺う。

答弁…乳児用液体ミルクは水や燃料の確保が困難な場合でも調乳の手間なく乳児に飲ませることができ、避妊生活における育児の負担軽減を図るものとして有効性が認められてい

る。また、各地の自治体においても、緊急時の備蓄品として導入が始まり、本市においても、今年度より、各地区の拠点避難所である小学校及び中学校への配備を進めている。

緊急時の食料や飲料水等を各家庭でも備えていただくよう防災ガイドブックなどで周知しており、乳児用液体ミルクの個人備蓄についても啓発に努めていく。

中山間地域の防災格差の解消について

田中 孝典

質問…来年1月の新庁舎の供用開始で、本庁舎の防災機能は飛躍的に高まる。しかし中山間地域の防災機能、とりわけ情報伝達手段については向上どころか退歩したままである。災害時にはまったく聞こえない屋外スピーカーではなく、合併前の戸別受信機方式へ戻すべきである。激甚化する災害に備え、一刻も早い対応を求めます。

答弁…防災行政無線の屋外拡声器については、現在164カ所に設置し、計画的な整備に取り組んでいる。

また、その他の情報伝達手段として、防災行政無線の放送内容を繰り返し聞くことができるテレフォンサービスや大垣ケーブルテレビ、

大垣市メール配信サービス、防災アプリなどの活用について周知に努めている。

戸別受信機の再配備については、整備費用や配備方法等の課題を含め、情報伝達手段の多様化の検討と合わせ引き続き研究していく。

地域公共交通網形成計画策定について

はんざわ 多美

質問…生活を支える買い物や病院へ行くといった「移動権」を保障するためには、今年度から始まった地域公共交通網形成計画策定にあたり、多くの市民が利用しやすい計画を作ることが重要である。そこで、策定段階からの「市民参加」と行政による細やかな説明や情報公開がカギとなる。本市の対応を伺う。

答弁…本市では地域公共交通網形成計画の策定にあたり、現在のバスに関する協議を目的とした地域公共交通協議の組織に学識経験者や関係事業者のほか、利用者、地域住民等の委員を拡充し協議を進めいく。

計画策定における市民参加については、現状把握のためのアンケート調査や利用実態調査、事業者ヒアリング調査をはじめ地域懇談会、パブリックコメントの実施により、広く意見を伺う

予定である。

今後、計画の策定にあたっては、警察や社会福祉協議会等の関係機関、鉄道やバス等の関係事業者とも連携して取り組んでいく。

学童期の子どもの居場所について

中田 としや

質問…子どもが健やかに育つ権利保障の考えから放課後や長期休暇中の子どもが過ごす居場所が重要である。留守家庭児童教室は、厚生労働省の基準で「1教室おおむね40人以下の児童数」及び「職員2人以上」となっているが、人員と場所の確保について現状を伺う。また、児童館のような居場所の整備の考えを伺う。

答弁…本市では子どもの居場所づくりとして、留守家庭児童教室、大垣まるごと土曜学園、スイトピア子どもクラブなどを行っている。

次に、留守家庭児童教室の基準を超える場合には、人数規模に応じた教室の確保に努めている。

次に、墨俣児童館のほか、児童遊園地を市内91カ所に整備し、心身及び豊かな情操を育む機会を提供しており、新たな施設整備の予定はない。

今後、留守家庭児童教

室の充実と、地域、学校と連携して子どもの居場所づくりに取り組んでいく。

公共施設の安全管理と設計について

北野 ひとし

質問…一級建築士資格を有する本市職員がスキルを生かすためには、申請の対応や事後保全等のルーチンワークで手一杯にならないことが重要である。若い技術者と庁内に技術を蓄積するため、増員も含めチームマネジメントを行い、公共施設等総合管理計画を確実に実行する必要がある。本市の考えを伺う。

答弁…最新の設計情報は民間企業のノウハウや技術の情報などを活用することが効果的である。さらに、その技術を職員間で共有する勉強会の開催や、講習会などへの参加を通して高い技術を有する職員の育成に努めている。なお、現在、大垣市公共施設等総合管理計画に沿って老朽化した施設の適切な維持管理に多くの技術職員が携わっており、限られた人員を新たな施設の設計に充てられないため外部への設計委託を行なわざるを得ない状況である。

今後、安全を第一とした施設整備に努め、技術の蓄積や人材の育成を図って

NPO法人大垣観光協会の改革について

岡田 まさあき

質問…法人設立以来、初めての監査委員の監査結果を伺う。市制100周年記念事業の補助金申請書を情報公開し積算根拠を求め、補助事業は職員の動員基準が必要と考える。駐在の市職員を観光協会への派遣に改め経営改善を求め、ふるさと納税の委託事業の決算内容が事実と異なり、情報公開し説明を求めます。

答弁…昨年度実施された監査委員による大垣観光協会の監査結果は、「行政と観光協会が一体的に行う事業を評価し、今後も効率的で効果的な事業の運営に当たること。また、地域価値の向上や地域経済の活性化を図りたい。」と報告を受けている。

補助事業は、大垣市補助金等交付規則及び大垣市情報公開条例に従い、適正に対応している。

次に、大垣観光協会事務局には大垣商工会議所職員と市職員が駐在し、旅行業務経験者等の専門職員も雇用している。

今後、各種団体と連携し、観光行政の推進に取り組んでいく。

意見書

第2回定例会で可決された意見書は次のとおりです。意見書は国会をはじめ、内閣総理大臣及び関係各大臣等に送付し、実現を要望しました。

功績をたたえ 永年在職議員表彰を伝達

去る6月14日、定例会の閉会后に全国市議会議長の永年在職議員表彰の伝達があり、日比野議長から表彰状が手渡されました。
◇特別表彰 議員20年以上 岡本 敏美 議員

後期高齢者医療費自己負担の現状維持に努める意見書

現在内閣府や財務省、厚生労働省では、審議会等を設置して、後期高齢者医療の自己負担割合を引き上げる負担増が検討されている。高齢者、とりわけ後期高齢者を取り巻く環境は、少子化・高齢化の進展、医療技術の革新、社会保障費の増加等によって大きく変化し、年々厳しさの度合いが増している。こうした中での負担増は、後期高齢者医療制度の根幹である高齢者が必要な医療を受ける機会の確保を揺らがせるものである。

よって、政府においては、後期高齢者医療の自己負担について現状維持に努めるよう強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年6月14日 大垣市議会

児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書

暴力を振るう、食事を与えない等の行為によって保護者が我が子を死に追いやるといった深刻な児童虐待事件が相次いでいる。こうした事態を防ぐため、国は虐待の発生防止、早期発見に向けた対応を行ってきたが、悲惨な児童虐待は依然として発生し続けている。

特に、昨年3月の東京都目黒区での女児虐待死事件を受け、政府は同年7月に緊急総合対策を取りまとめ、児童相談所の体制強化などを図る法改正案を今国会に提出することになっていた。その直前の今年1月、野田市で再び痛ましい虐待死事件が発生。児童相談所も学校も教育委員会も、警察も把握していながら、なぜ救えなかったのか。悔やまれてならない。

今国会に提出された児童虐待防止対策の強化を図るための児童福祉法等改正案の早期成立を求めるとともに、次の事項につき、取り組みの推進を強く求める。

- 1. 「しつけによる体罰は要らない」という認識を社会全体で共有できるよう周知啓発に努めるとともに、法施行後必要な検討を進めるとしている民法上の懲戒権や子供の権利擁護のあり方についても速やかに結論を出すこと。
2. 学校における虐待防止体制の構築や警察との連携強化、スクールソーシャルワーカーやスクールロイヤー配置のための財政的支援を行うこと。
3. 虐待防止のための情報共有システムを全ての都道府県・市町村で速やかに構築ができるよう対策を講じるとともに、全国統一の運用ルールや基準を国において速やかに定めること。
4. 児童相談所とDV被害者支援を行う婦人相談所等との連携を強化し、児童虐待とDVの双方から親子を守る体制強化を進めるとともに、児童相談所の体制整備や妊娠・出産から子育てまで切れ目のない支援を行う日本版ネウボラの設置推進を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和元年6月14日

大垣市議会

◆一般質問の録画放映(ケーブルテレビ)

大垣市議会では、市民の皆さまに議会活動への理解を深めていただくため、各定例会(3月、6月、9月、12月)の一般質問を大垣ケーブルテレビ(11ch)による録画で放映しています。次回の放映は、9月中旬(一般質問が行なわれた週の土・日)を予定しています。

◆本会議・委員会会議録がご覧いただけます。

本号に掲載された質問・答弁等の詳しい内容については、図書館、市政情報コーナー、市議会ホームページなどでご覧いただけます。

ホームページは



議会のICT化に関する委員の紹介

議会におけるタブレット端末の導入等に向けた協議を行います。

Table with 2 columns: Role (委員長, 副委員長, 委員) and Name (石田 仁, 中田 ゆみこ, 長谷川 つよし, 北野 ひとし, 空 英明, 中田 としや, 不破 光司)

議会だより編集委員の紹介

市民の皆さまのご意見やご要望をいただきながらよりよい紙面づくりに努めてまいります。

Table with 2 columns: Role (委員長, 副委員長, 委員) and Name (長谷川 つよし, 丸山 新吾, 関谷 和彦, 空 英明, 不破 光司, はんざわ 多美, 梅崎 げんいち)

令和元年第1回臨時会 議案審議結果一覧

全会一致で可決された議案

Table with 4 columns: 議案番号, 議案名, 議案番号, 議案名. Items include 大垣市税条例の一部改正について, 大垣市監査委員の選任について, etc.

令和元年第2回定例会 議案審議結果一覧

全会一致で可決された議案

Table with 4 columns: 議案番号, 議案名, 議案番号, 議案名. Items include 令和元年度大垣市一般会計補正予算(第1号), 財産の取得について, etc.

賛否が分かれた議案

Table with 4 columns: 議案番号, 議案名, 議決結果, 議員名. Includes 後期高齢者医療費自己負担の現状維持に努める意見書を求める請願, etc.

○=賛成、×=反対 議長は採決に加わらないため、斜線としています。